再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：桜田　昌之

事業名	一般道道北進平取線	事業区分	地方道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道勇払郡厚真町上幌内 至：北海道勇払郡むかわ町穂別			延長	１０．４ km

事業概要

北進平取線は、安平町から平取町に至る延長約２１ｋｍの一般道道であり、このうち、厚真町上幌内からむかわ町穂別地区までの延長約１０．４kmが開発道路に指定され、事業を進めています。当該道路は、交通不能区間の解消による新たな交通ネットワークの構築、物流効率化の支援、高次医療機関へのアクセス向上等に寄与する道路です。

Ｓ５６年度事業化	Ｈ－年度都市計画決定	Ｓ５６年度用補着手	Ｓ５７年度工事着手

全体事業費	約１０７億円	事業進捗率	７３％	供用済延長	５．３km
計画交通量	１，４００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．１ (残事業) ４．６	３０／１３０億円 事　業　費：27/127億円 維持管理費：3.1/3.1億円	１３９／１３９億円 走行時間短縮便益：108/108億円 走行経費減少便益：27/27億円 交通事故減少便益：4.3/4.3億円	平成２０年

感度分析の結果　残事業について感度分析を実施

交通量変動：B/C＝ 5.0（交通量　＋10%）　B/C＝ 4.1（交通量　－10%）
事業費変動：B/C＝ 4.2（事業費　＋10%）　B/C＝ 5.0（事業費　－10%）
事業期間変動：B/C＝ 4.4（事業期間＋ 1年）　B/C＝ 4.7（事業期間－ 1年）

事業の効果等

・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する）
・物流効率化の支援(農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる)
・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）　他６項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

苫小牧市をはじめとする関係１市４町の首長及び議会議長で構成される北海道苫小牧地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成１８年３月に旧鵡川町と旧穂別町、旧追分町と旧早来町、旧日高町と旧門別町、旧静内町と旧三石町がそれぞれ「むかわ町」「安平町」「日高町」「新ひだか町」として合併。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和５７年度より工事着手し、用地進捗率１００%、事業進捗率７３%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業が順調に進んだ場合、平成２０年代中頃の事業完了を予定している。

施設の構造や工法の変更等

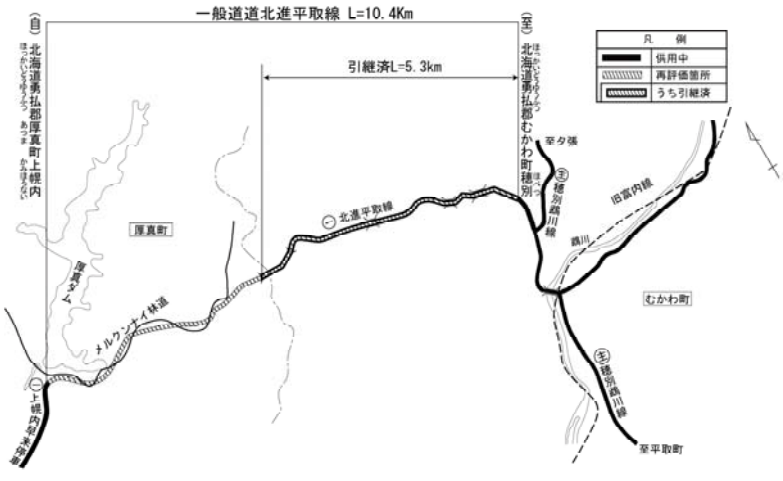
現地発生材の有効利用や新技術の活用によりコスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。